

I 図書館紹介

1 沿革

昭和 48 年('73)	6 月	中央市民会館建設用地決定
昭和 49 年('74)	3 月	基本設計委託
昭和 50 年('75)	7 月	実施設計委託
昭和 51 年('76)	8 月	起工式
昭和 52 年('77)	4 月	教育委員会事務局内に中央市民会館建設準備係設置
	9 月	図書館開設準備委員委嘱
昭和 53 年('78)	4 月	小山市立図書館設置条例及び小山市立図書館管理運営規則施行 庶務・閲覧奉仕 2 係設置、職員 9 人発令
	5 月	図書館開設準備委員会解散
	6 月	図書館協議会委員委嘱
	7 月	中央市民会館落成・式典挙行
	8 月	市立図書館開館
昭和 54 年('79)	4 月	職員 2 人増員 (計 11 人)
昭和 55 年('80)	6 月	おはなし会開始
昭和 56 年('81)	4 月	職員 2 人増員 (計 13 人) 小山市移動図書館の管理運営に関する規程施行 移動図書館巡回開始 (開設場所・15 か所)
	9 月	職員 1 人減 (計 12 人)
昭和 58 年('83)	4 月	機構改革により 2 係が 1 係となり奉仕係と改称 貸出冊数 2 冊から 5 冊へ規則変更
昭和 59 年('84)	4 月	身体障害者への宅配サービス開始 公民館への配本所設置 (間々田・桑・豊田・穂積)
昭和 60 年('85)	4 月	紙芝居個人貸出開始
	8 月	移動図書館車の更新
昭和 61 年('86)	4 月	絹公民館図書室への配本開始 移動図書館巡回駐車場増設 (開設場所・25 か所)
	7 月	大谷公民館への配本所設置
昭和 62 年('87)	4 月	移動図書館巡回駐車場増設 (開設場所・28 か所) 寒川公民館図書室への配本開始
	9 月	小山市立独立図書館建設計画検討委員会設置
昭和 63 年('88)	1 月	コンピュータ導入・機器による業務開始
	4 月	生井公民館図書室への配本開始
	1 1 月	小山市立独立図書館建設計画検討委員会報告書、市長へ提出
平成元年 ('89)	3 月	小山市独立図書館基本構想検討委員会発足 (委員 15 人)
	9 月	小山市独立図書館基本構想答申書提出 小山市独立図書館基本構想検討委員会解散
平成 2 年 ('90)	3 月	(仮称) 小山市立中央図書館設計委託
	4 月	移動図書館巡回駐車場増設 (開設場所・30 か所) 間々田公民館に配本所に代えて図書室を開設、配本開始

- 1 1月 (仮称) 小山市立中央図書館実施設計完了
- 平成3年('91) 3月 (仮称) 小山市立中央図書館着工
- 平成4年('92) 4月 職員4人増員(計16人)
- 5月 移動図書館巡回駐車場増設(開設場所・31か所)
- 9月 (仮称) 小山市立中央図書館竣工
- 平成5年('93) 4月 小山市立図書館設置条例及び小山市立図書館管理運営規則改正
総務係・奉仕係・小山分館業務係設置、職員9人増員(計25人)
小山市立中央図書館開館記念式典挙行
小山市立中央図書館及び小山分館開館
利用者開放端末設置(1台)
- 5月 小山市立中央図書館開館に伴い、移動図書館開設場所を縮小(開設場所・27か所)
- 平成6年('94) 6月 パソコン通信事業着手(平成6年度中に市内全中学校11校・小学校1校・県立足利図書館・野木町立図書館と接続)
- 平成7年('95) 1 2月 移動図書館車の更新
- 平成8年('96) 4月 栃木県図書館情報ネットワークシステム接続開始
- 平成10年('98) 4月 職員1人増員(計26人)
- 6月 利用者開放端末3台増設(計4台)
- 平成11年('99) 4月 職員2人増員(計28人)
- 移動図書館開設場所を一部変更(開設場所・27か所)
- 平成12年('00) 4月 「子ども読書年」にあたり児童書の整備・充実(ミレニアム・プロジェクト図書整備事業)
- 9月 貸出冊数5冊から10冊へ規則変更
- 1 1月 中央図書館の祝日開館・開館時間延長開始(平日午後7時まで開館)
- 平成13年('01) 1月 栃木県南2市10町(栃木市、小山市、壬生町、石橋町、国分寺町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、南河内町及び西方町)の公立図書館等の広域利用に関する協定書・覚書調印
- 4月 栃木県南2市10町公立図書館等の広域利用開始
栃木県南公立図書館等連絡協議会設立
教育委員会事務局及び教育機関の組織等に関する規則改正により総務係から業務係・小山分館業務係から分館業務係と改称
職員1人減員(計27人)
- 1 1月 中央図書館第2集会室を学習室として利用開始(土・日・国民の祝日・夏休み等学校の長期休業期間中)
- 平成14年('02) 4月 移動図書館開設場所を一部変更(開設場所・26か所)
図書館ボランティアの受入開始(43人登録)
夏休み中学生・高校生ボランティア受入(中高生5人・一般6人登録)
- 平成15年('03) 1月 地域イントラネットの運用開始に伴いホームページを開設
(資料検索及び貸出中資料の予約開始)
- 4月 職員1人増員(計28人)
移動図書館開設場所を一部変更(開設場所・25か所)
- 平成16年('04) 4月 「子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰受賞

- 職員 2 人減員 (計 26 人)
- 平成 17 年('05) 4月 移動図書館開設場所を一部変更 (開設場所・26 か所)
- 10月 ビジネス支援コーナーを開設
利用者開放端末 3 台増設 (計 7 台)
- 平成 18 年('06) 1月 中公民館図書室を新設
栃木県南 3 市 7 町 (栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町及び西方町) の公立図書館等の広域利用に関する協定書・覚書調印
- 4月 「小山市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備・充実 (子どもの読書活動推進事業) の取り組み開始
職員 3 人減員 (計 23 人)
- 平成 19 年('07) 3月 教育委員会事務局事務室の移転・再配置に伴い、小山分館を規模縮小
- 4月 中央図書館、小山分館の開館時刻を午前 9 時 30 分から午前 9 時へ規則変更
小山分館業務係を中央図書館奉仕係が兼務
職員 2 人減員 (計 21 人)
- 7月 地域の図書館サービス充実支援事業 (文部科学省委託事業) として、中央図書館農業支援サービス事業を実施 (20 年 3 月まで)
- 平成 20 年('08) 3月 「としょかん朝市」開催
- 4月 茨城県結城市との公立図書館の広域利用に関する協定書・覚書調印、広域利用開始
職員 2 人減員 (職員 19 人、臨時職員 7 人)
- 7月 公民館図書室の電算処理 (オンライン) 開始 (絹・生井・寒川・中)
- 8月 「図書館開館 30 周年記念式典」開催
- 平成 21 年('09) 1月 大谷公民館図書室を新設
- 4月 間々田分館開館
移動図書館開設場所を一部変更 (開設場所・20 か所)
職員 1 人減員 (職員 18 人、臨時職員 9 人)
- 5月 市内小中学校 38 校の学校図書館ネットワーク開始
中央館に防犯カメラ 4 台設置
中央館 1 階にオストメイトトイレ設置
- 6月 軽食・飲食コーナーを設置
- 平成 22 年('10) 4月 中央図書館窓口業務委託開始 1 年間
(2 階サービスデスク、移動図書館・配本所業務、小山・間々田分館業務)
職員 4 人減員 (職員 14 人、臨時職員 6 人)
子どもの読書活動優秀実践団体「はなしのこべや」文部科学大臣表彰受賞
- 5月 第 1 回元気アップ子ども司書養成セミナーを開始
- 10月 利用者端末や図書館ホームページから所蔵資料の予約、貸出・予約状況の確認、貸出延長手続き (次に予約がなく、その資料を延滞していない場合のみ、1 回まで) 開始
予約・リクエスト件数を、全館合計で図書・雑誌・視聴覚資料あわせて 1 人 20 点までを上限とする

- 公民館配本所の電算処理（オンライン）開始（穂積・豊田・桑）
- 1 1 月 視聴覚資料の貸出限度数を3点から5点へ規則変更
- 1 2 月 小山市立図書館雑誌スポンサー制度開始
- 平成 23 年（'11） 3 月 11 日（金）14 時 46 分 18 秒、観測史上最大規模のマグニチュード 9.0 震度 7 を記録した東日本大震災発生。東日本に壊滅的な被害をもたらす。図書館も開架資料が落下。ライフラインが途絶え停電となり地震が頻繁に発生するため、午後 15 時 30 分頃、図書館を閉館する。
12 日より東電の計画停電が実施される。4 月末日まで中央館・分館の開館時間を午前 9 時から午後 5 時とする。
- 4 月 中央館の土・日・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時へ開館時間延長（平成 23 年 4 月 1 日規則改正）するが、東日本大震災の節電計画等により実施を見送る。
中央図書館窓口業務委託（23 年度～25 年度 1 階・2 階サービスデスク、移動図書館、配本所、小山・間々田分館業務）
職員 2 人減員（職員 12 人）
「小山市立図書館のあゆみ」を作成し中央館の正面入口付近に掲示
- 5 月 東日本大震災による中央館・分館の開館時間短縮を通常に戻すとともに、中央館は、4 月 1 日規則改正どおり土・日・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時への開館時間延長を開始
蓋付容器仕様のものであれば館内での水分補給を可とする
- 平成 24 年（'12） 4 月 移動図書館開設場所の「豊田公民館」を廃止し、新たに「大谷東小学校」を開設する
- 平成 25 年（'13） 4 月 小山市小山城南市民交流センター配本所開所
中央図書館敷地内全面禁煙とする
- 6 月 視聴覚設備機器の半分（6 台）改修
- 1 0 月 移動図書館車“せきれい”18 年ぶりに更新
- 平成 26 年（'14） 2 月 8 日（土）大雪のため全館午後 5 時閉館
15 日（土）豪雪のため全館臨時休館
- 4 月 中央図書館窓口業務委託（26 年度～28 年度 1 階・2 階サービスデスク、移動図書館、配本所、小山・間々田分館業務）
小山市立中央図書館読書通帳 20,000 冊の配布事業を小山ロータリークラブの支援を受け実施
- 1 1 月 小山市立図書館利用制限要項施行
- 平成 27 年（'15） 3 月 27 日（金）小山市立中央図書館読書通帳多読賞表彰（上位 5 人）
- 4 月 奉仕係・管理係を廃し業務係となる
職員 1 人減員（職員 11 人）
学校図書館電算システム運営事業を教育委員会学校教育課へ移管
小山市公衆無線 LAN「OYAMA Free Wi-Fi」アクセスポイントが中央図書館一般開架室に設置される
- 9 月 9 日（水）から 11 日（金）にかけての記録的な大雨（平成 27 年 9 月関東・東北豪雨）により、市内で大規模な浸水被害が発生。10 日は小山分館の開館時間を 1 時間遅らせる

- 1 1月 21日(土) ビジネス支援サービス事業開始10周年を記念し、シンポジウムを開催
- 平成28年('16) 4月 職員1人減員(職員10人)
桑分館開館
桑分館開館に伴い、移動図書館開設場所の「桑公民館」を廃止し、新たに「小山東ニュータウン」を開設する
健康増進課主催の9か月児健康相談会場で絵本の読み聞かせと絵本のプレゼントを行う「絵本とこんにちは」事業(絵本とふれあうしあわせ事業)を開始
- 5月 乳児向けのおはなし会「おはなしウェンディ0・1・2」を開始。あわせて赤ちゃんなどの小さな子どもと保護者が気兼ねなく図書館を利用いただくための時間「すくすく・ほっと・タイム」を導入
- 1 1月 I C図書館システム導入。中央図書館にI Cゲート、デジタルサイネージ、自動貸出機を設置
- 平成29年('17) 2月 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
- 3月 間々田分館に小山南ロータリークラブ文庫を設置
- 4月 業務係を総務係と係名変更
中央図書館窓口業務委託(29年度～31年度 1階・2階サービスデスク、小山・間々田・桑分館業務、館外奉仕業務)
移動図書館開設場所の「延島小学校」「梁小学校」を廃止し、新たに「羽川小学校」「絹義務教育学校」を開設する
- 6月 25日(日) A L A(米国図書館協会)年次総会のポスターセッションにおいて、農業支援サービス事業の事例発表
- 7月 中央図書館に書籍消毒機を設置